

## 健康・高齢化社会

### 事業における取り組み

活動

アジアを中心とする新興国では、引き続き人口増加や高齢化等による圧倒的な病院不足に加え、生活習慣病の急増等による医療ニーズの多様化がみられます。また新型コロナウイルス流行に伴う遠隔診療の普及や、未病・予防も含むWellness分野へ医療のバリューチェーンの広がりが見込まれるとともに、デジタル技術を活用した顧客満足度向上やオペレーションの生産性向上に向けた取り組みが加速化すると考えられています。こうしたトレンドを踏まえ三井物産は、「病院事業を中心としたヘルスケアエコシステムから人々を中心としたWellnessの世界への変革の先導者」となるべく、当社アセットやキーステークホルダーとの連携やヘルスケアデータを有効活用することで、当社のような民間企業の資本やノウハウの発揮に積極的に取り組んでいきます。今後も事業を通じ「アクセス・質・効率性」の面からヘルスケアの発展に貢献し、人々が健康で、豊かな生活を営める社会につなげていきます。

### 中国の需給ギャップ解消に向け、ヘルスケアファンドを設立

活動

当社は、中国ヘルスケア市場において最大手の一社である華潤集団、アジア屈指の投資会社である厚樸投資と共に、共同投資会社CMH Healthcare Fund L.P. (以下、CMHヘルスケアファンド)を設立しました。CMHヘルスケアファンドは総額10億米ドル(約1,080億円)の規模で、中国を中心とした病院事業(クリニック・専門病院運営、運営受託等)や中国内外のヘルスケア周辺事業を対象とした投資を行います。

中国のヘルスケア市場は、高齢化や公的保険制度の充実に伴う急速な医療費の増加により、質と量の両面で需給ギャップが生じています。今回のファンド設立は、当社の目指すアジアにおけるヘルスケアエコシステムの構築に向けた重要な地域戦略の一つです。既存事業とのシナジー創出を梃子にしながら、今後もさらに伸び行く中国市場での事業基盤拡大を図り、ヘルスケアのさらなる発展に貢献していきます。



CMHヘルスケアファンド調印式(2019年6月)

### 食べ物をゆっくり消化させるスローカロリープロジェクトの推進

活動

日本においてはカロリーや糖質の摂取量は減少しつつも、生活習慣病の増加や食生活の偏りが問題視されています。精製度合いの高い、柔らかく食べやすい加工食品等が増えた結果、消化吸収のスピードが高まっていることも一因と考えられます。当社関連会社の三井製糖株式会社では、素早く吸収される特徴を持ち、エネルギー産生栄養素の一つで最も摂取量が多い炭水化物/糖質に着目し、食べ物(特に糖質)をゆっくり消化吸収させることを「スローカロリー®」と名付け、「元気で健康な体を創る」ことができるよう、スローカロリーの啓発活動と、スローカロリーを活用した製品開発および開発支援、普及活動を行っています。

### 医薬製造・販売・物流を通じた医療アクセスの改善への取り組み

活動

ロシアでは、同国最大手医薬品製造販売会社のJSC R-Pharm、中国では、Shenzhen Main Luck Pharmaceuticals Inc.、インドでは、Keimed Private Limitedを通じて、求められる高品質な医薬品の製造や販売・流通事業を展開することで、医療新興国における医療アクセスの改善、医療需給ギャップの解消に取り組んでいます。また、各国・地域の薬価制度にのっとり、医療新興国における正当な価格設定による医療アクセスの改善も図っています。

### グローバルな健康課題への対応—感染症対策(マラリア・はしか等)

活動

ブラジルのJirau水力発電事業では、官民パートナーシップの下、地域住民の健康・衛生環境の改善・向上を目的とした社会貢献・環境対策プログラムを2009年より実施しており、とりわけマラリア対策に力を入れています。診療・治療機会として、簡易な治療を受けられる施設や病院の建設、移動型病院(船舶)の提供に取り組む一方で、ヘルスケア教育やセミナーを実施し予防にも努めています。ベクターコントロール(媒介害虫駆除)としては、駆除作業に必要な物資や研究機器の寄付、研究員や殺虫業者等の専門家の派遣、防虫蚊帳の配布、ベクター繁殖モニタリングや殺虫ミスト散布による駆除作業を実施しています。同地域における2010年から2019年までのマラリア症例数の削減率は90%に上り、外部からも高い評価を受けています。